

支援プログラム【事業所名:第2あづみ園】		作成日:2024年10月11日	
法人理念	(1)早期診断・早期療育 脳の発達に様々な可能性のある早い時期に、障害を発見し、個々の子どもにあった療育プログラムをたて、療育を提供します。 (2)親と子の健全な関わりへの協力 障害をもつ子どもと、その子を育てる親が良い関係を築けるように、定期的に学習会を計画し、子育てを楽しく出来るようにサポートしていきます。 (3)インクルージョン理念の実現 本園と地域の保育所(園)、幼稚園、認定こども園との併行保育を利用しながら、地域の子ども達が地域で育ち、育てられるように、また、最終的に地域の学校で学べるように療育します。		
支援方針	インクルージョンの理念に基づき、障害のある子ども達が地域社会の中で、生き生きと生活できる支援・サービスを提供します。 ①個々に対応した指導・訓練 子ども個々に合った検査を行い、年齢・ニーズ・社会適応能力等の実態を把握し、個別支援目標をたて、計画に沿って療育を行います。また、医師・心理士・言語聴覚士・保育士等関係者が一堂に会して、カンファレンスや実態交流等を行い、定期的に成長を評価して、次の目標を明確にして療育をします。 ②地域社会に開かれた施設機能の充実 児童発達支援の拠点としての機能を発揮し、毎日通園児だけでなく、併行児に対しても療育や相談、生活支援等の訓練等を積極的に行います。また、地域の保育所(園)・幼稚園・認定こども園・学校等関係機関や施設等と連携を密にし、あづみ園がもっている情報や技術を提供します。		
営業時間	8:30～17:00	送迎の有無	有
支援提供時間	9:30～14:30		

項目	支援内容
健康・生活	衣類の着脱・・・自分で脱ぎ着が難しい時は保育者に助けを求められるように言い方を知る。自分でやろうする意欲を持てるように見えない手助けをしてできたことを褒めていく。 排泄・・・決められた時にトイレに行くように声掛けや絵カードなどで知らせる。排泄できた時には大人も一緒に喜び次につなげる。 睡眠・・・体を横になるという指示を受け入れ午睡が出来る。 食事・・・好きな食べ物が食べられることを支えに保育者から進められる(苦手な)ものを少量でも食べられるようになる。
運動・感覚	保育者が一緒に遊ぶことで子どもが楽しいと感じる遊びを見つける。 はじめての活動は見学したり、回数を少なくしたりすることで成功体験ができるようにする。 個々に合った体を思いきり動かして遊べる遊具の設置を行う。
認知・行動	保育者が一緒に行い遊びのヒントを知らせ楽しめるようにする。 物の名前を意識しながら遊べる活動を行う。 保育者の合図に気づき、指示が分かるように事前に知らせたり、絵カードで見せたりして自分でわかって動くことが出来るようにする。
言語・コミュニケーション	物の名前を絵や実物を使って知らせていく。言葉の一部分でも言えた時にはしっかり褒めて意欲を持たせる。 言葉以外の要求方法、ジェスチャーやクレーンの方法を知らせ大人との関りが出来るようにする。
人間関係・社会性	苦手な事でも後の楽しみや好きなものとの駆け引きで少しでもしようとする。 順順番カードや顔カードを見ることで自分の順番が分かって遊びに参加することが出来る。

移行支援	○日常的な連携に加え、特に行事等の際には、説明の方法や促し方について共有を図る。 ○関係機関で役割分担を行うと共に、それぞれの機関で得られた情報を共有し、日常的な生活や支援に活用するための具体策を提案する。 (関係機関連携) ・必要に応じて併行先を訪問し、行事等、普段と異なる活動の際のこどもとの関わりについて、具体的な関わり方のモデルを示す。 ・連携会議を定期的開催し、情報収集・役割分担について協議する。 ・各関係機関からの情報に基づき、具体的な場面でのこどもとの関わり方の提案や関わり方のポイントについて助言を行う。
家族支援	○保護者の意向に寄り添いながら、親子と子が良い関係を築いていける様、相談助言していきます。 (子育てサポート) ・保護者の方に支援場面の見学や活動参加の機会を提供し、子どもの特性や関わり方など支援方法について、相談助言を行います。 (個別支援) ・個別指導の際に、園での様子を伝えたり、家庭での様子を聞きとったりし、お互いの情報交換をする事で、家庭での支援方法など相談助言を行います。 (グループ支援) ・定期的に学習会(支援方法・就学についてなど)を開催し、相談助言を行います。 ※必要に応じてペアレントトレーニングを実施します。
職員の質の向上	【職員研修及び障害児発達支援フォーラム】 著明な先生方を全国からお招きして講演会を行い、新しい情報を早く正確に学習することで、職員の知識や経験を常に活性化させ、子ども達の療育に反映できるようにしています。また組織の一員としてあるべき基本姿勢・技術力・人間力を高める研修を大切にしています。 【虐待防止】 虐待の防止を啓発・普及するための研修を実施(虐待防止について) 【身体拘束】 身体拘束等の適正化の為の研修を実施(身体拘束について) 【感染症の予防及びまん延防止】 感染症の予防及びまん延防止の為の研修を実施(感染症対策と感染症発生時の消毒方法・対応について) 【業務継続計画】業務継続計画の為の研修を実施(BCP について) 【安全計画】安全計画の為の研修を実施(心肺蘇生法・応急処置)
主な行事	・誕生日会 ・遠足 ・お楽しみ会 ・クリスマス会 など